

豊中市の図書館活動 I

— 報 告 —

平成 29 年度（2017 年度）版



豊 中 市 立 図 書 館

目 次

はじめに	1
図書館の使命と理念 基本目標	2
1. 数値で見る平成 29 年度の豊中市立図書館のすがた	3
2. 平成 29 年度 トピックス	4
◆ 図書館サポーター、始動	4
◆ 利倉西センター図書室を開室	4
◆ 広域利用サービスを拡大	5
◆ 「歴史的音源（れきおん）」の利用を開始	5
◆ 外部評価 ~アンケートの実施と図書館評価部会開催~	5
3. 地域・市民との協働	6
◆ しょうないR E K (R:リサイクル E:イベント K:瓦版[情報発信])	6
◆ 千里文化センター「コラボ」	7
◆ 北摂アーカイブス ~地域情報アーカイブ化事業~	7
◆ 関係団体一覧	8
◆ 市民との取り組み事業	9
4. 子ども読書活動推進計画	11
5. 事業報告	11
◆ 暮らしの課題解決	11
◆ レファレンスサービス	13
◆ 個人貸出サービス	13
◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」	14

◆ ヤングアダルト（Y.A）サービス	15
◆ 高齢者サービス	16
◆ 障害者サービス	16
◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）	17
◆ 団体へのサービス	17
◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス	19
◆ 図書室	19
◆ 資料の収集と保存	19
◆ 人権・平和に関する取り組み	20
◆ 研修	21
6. 情報発信（広報・広告など）	22
7. 職員による出前講座・講師派遣、視察	25
8. 図書館協議会	26
9. 図書館評価	27
10. グランドデザインの進捗状況	28
11. とよなかブックプラネット事業	32
施設案内	33

はじめに

平成 29 年度のサービス拡大に関する取り組みとして、7月には利倉西センター図書室を開室いたしました。利倉西地区ではこれまで動く図書館の巡回をおこなってまいりましたが、かねてよりご要望いただいたおりました固定施設の開設が実現できました。また同月から近隣自治体の図書館を相互に利用できる広域利用を拡大し実施しております。広域利用サービスは平成 15 年(2003 年)蛍池図書館と箕面市の萱野南図書館の館限定で試行実施を開始いたしましたが、効果検証をおこないながら徐々にサービスの拡大に取り組んでまいりました。平成 24 年(2012 年)からは豊能地区 3 市 2 町において試行実施し、現在は北摂 7 市 3 町として、豊中市のみなさまにも利用していただける図書館が広がっています。あわせて庄内図書館限定での大阪市との広域連携も開始しました。

平成 21 年度から継続している「豊中市立図書館評価システム」の取り組みとして、自己点検報告書と来館者アンケートなどをもとに外部評価を実施いたしました。これは図書館協議会の部会において 5 年ごとに実施しているものです。図書館が地域にどのような貢献をしているかをあらわす指標の開発や、アンケート調査や評価結果をわかりやすく示し、図書館について知っていただく必要性など、さまざまなお意見をいただきました。これらを今後の図書館運営やサービスに活かしてまいります。

また平成 34 年(2022 年)予定の(仮称)南部コラボセンターの開設にむけて、図書館協議会をはじめ市民のみなさまからさまざまなご意見をいただきてまいりましたが、それらをふまえて、他部局との調整をおこないながら図書館機能や連携のあり方について検討をすすめています。南部地域の活性化につながるよう、図書館の具体化に引き続き取り組みます。

今後も図書館が暮らしや仕事に役に立つ身近な存在として、地域の情報拠点の役割を果たせるよう、市民のみなさまとともに職員一同取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

平成 30 年(2018 年)9 月
豊中市立岡町図書館 館長 北風 泰子

図書館の使命と理念 基本目標

＜公共図書館の使命・理念＞

- ・ 多様な資料や情報を収集・保存し提供することによりすべての市民に知る機会を保障します。
- ・ 民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- ・ 市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

＜豊中市立図書館の使命・理念＞

- ・ 豊中市立図書館は「ユネスコ公共図書館宣言」・「図書館法」・「図書館の自由に関する宣言」に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- ・ 豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- ・ 豊中市立図書館は、教育・文化・情報・社会参加の機関としてその任務を果すこととします。

＜豊中市立図書館の基本目標＞

1. 図書館活動全般を通じて教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより、市民生活に密着した、より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人間的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. 「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等誰もが利用しやすいよう、情報提供を進め読書環境を整備し、すべての人が共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら、「豊中市市民公益活動推進条例」等をふまえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。

1. 数値で見る平成 29 年度の豊中市立図書館のすがた

人 口	397,682 人	調 査 相 談 件 数	90,655 件
個 人 登 録 者 数	149,260 人	年間利用者数（入館者数）	1,970,758 人
個 人 貸 出 冊 数	3,520,016 冊	職 員 数（うち常勤）	119(54) 人
団 体 貸 出 冊 数	155,536 冊	蔵 書 冊 数	1,064,743 冊
貸 出 人 数	1,059,682 人	年 間 受 入 冊 数	50,815 冊
予 約（受付）件 数	864,338 件	図 書 購 入 費	69,317,518 円

※貸出冊数は継続を含む

※年間利用者数（入館者数）は図書室・動く図書館含まない

◆市民 1 人あたりの 図書購入費は 174 円

蔵書冊数は 2.7 冊

貸出冊数は 8.9 冊

◆開館日 1 日あたりの来館者数は 6,538 人 図書室・動く図書館含まない

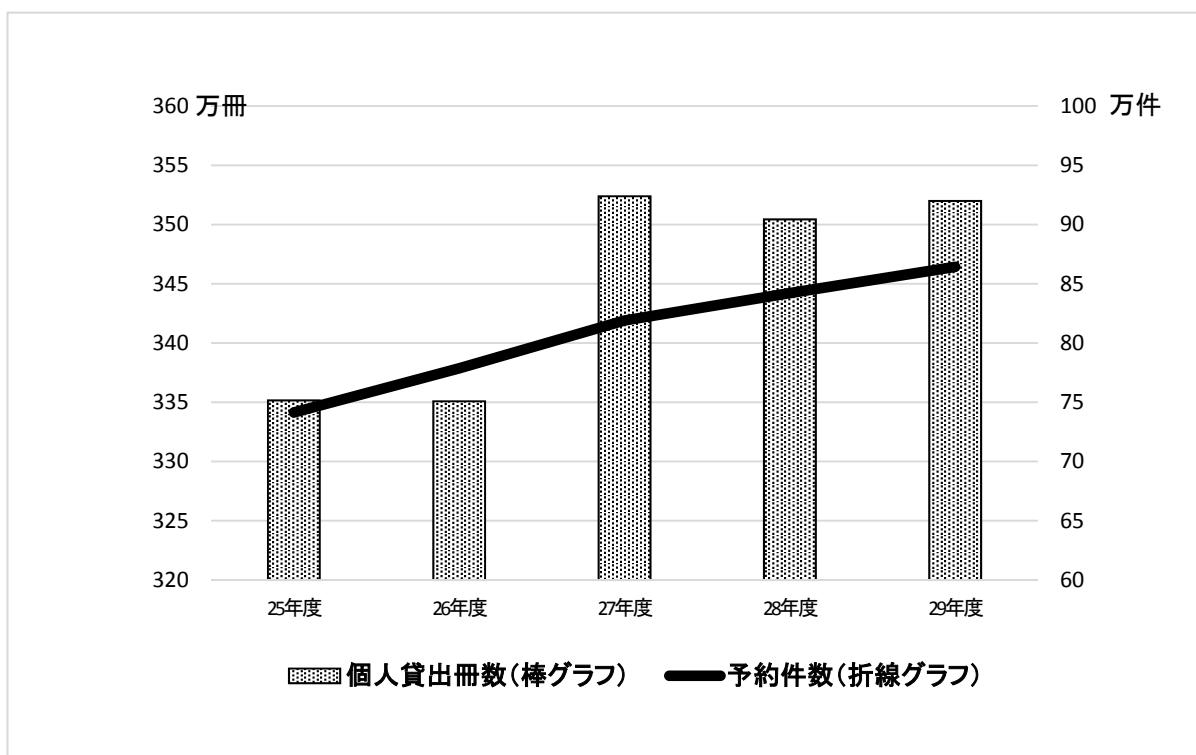
◆利用者登録率は、 37.5%

※登録率…平成 17 年度より有効期間 5 年の更新処理実施中

◆蔵書回転率は 3.3 回

※蔵書回転率…一冊の蔵書が平均何回貸し出されたかを示す

<個人貸出冊数および予約件数の推移>



2. 平成 29 年度 トピックス

◆ 図書館サポーター、始動

図書館に関心を持つ市民の社会参加の場を作り、市民の視点を取り入れることにより、図書館サービスの充実をめざしている。

平成 29 年 3 月から募集を始め、現在は庄内、庄内幸町、野畠図書館の 3 館で約 25 人のサポーターが活動している。サポーター登録にあたっては事前に研修をおこない、活動内容は資料の修理や寄贈資料のフィルムコーティングのほか、庄内幸町図書館での自習・新聞閲覧スペースの見守りなど。

参加者からは、「図書館にさらに親近感を持った」「日常生活と違った作業をすることを新鮮に感じている」といった感想があった。今後もサポーターと意見交換をしながら取り組みを発展させていく。



サポーター活動のようす



移転再オープンを知らせるちらし

◆ 利倉西センター図書室を開室

～分室・図書室におけるサービス内容の変更～

旧市民サービスコーナーの施設を活用して、平成 29 年 7 月、上津島のバス図書室を利倉西センター図書室に移転した。これに伴い、動く図書館の巡回ステーション 2 か所のサービスを終了。月 1 回の動く図書館の巡回から週 2 回図書室を開室することで、西部地域の住民の利用機会が増え、利便性が向上した。

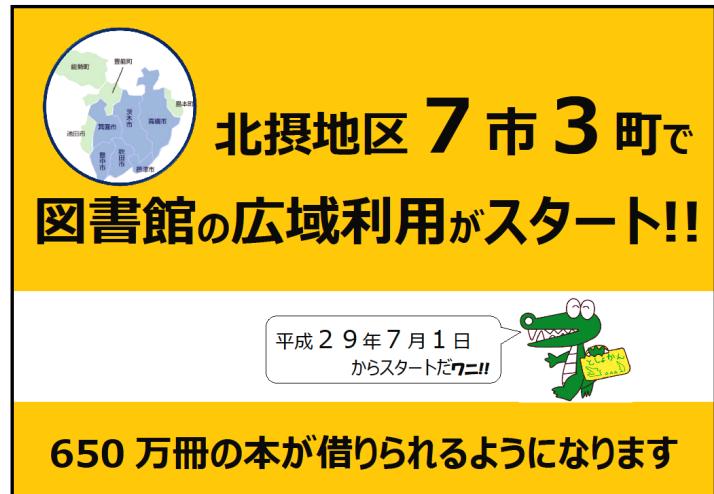
また、庄内幸町図書館は平成 29 年 11 月より、開館日を週 6 日から週 3 日に変更するとともに、新たに自習・新聞閲覧スペースを設置し、週 6 日の開放を開始した。

◆ 広域利用サービスを拡大

これまで豊能地区 3 市 2 町（豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町）および吹田市の一部の図書館の広域利用を実施してきたが、平成 29 年 7 月から吹田市全館・茨木市・高槻市・摂津市・島本町も含めた北摂地区全域の公立図書館や図書室（動く図書館は除く）での広域利用を開始した。これにより、対象地域の住民の利用可能な施設が増え、あわせて約 650 万冊の資料を借りることができます。

平成 29 年度の豊中市民の北摂地区他市町での借出冊数は 53,730 冊であり、箕面市が全体の 62%、吹田市が 31% となっている。一方で豊中市立図書館からの他市町在住者への貸出冊数は 51,495 冊であり、吹田市民が 53%、箕面市民が 31%、池田市民が 10% と隣接する市からの利用が多い。

同時に、庄内図書館では大阪市在住者への資料の貸出を開始した。大阪市民の貸出冊数は 2,242 冊、貸出人数は 666 人であった。



◆ 「歴史的音源（れきおん）」の利用を開始

国立国会図書館配信の歴史的音源が岡町、千里図書館で利用可能となった。専用端末で、1900 年から 1950 年頃に国内で製造された S P レコードなどに収録されている音楽・演説など、約 5 万点の貴重な音源を聴くことができる。

同時に、平成 28 年度に千里図書館で利用開始した「国立国会図書館のデジタル化資料送信サービス」（資料の閲覧や複写サービス）を岡町図書館でも開始し、利用環境を拡充した。

◆ 外部評価～アンケートの実施と図書館評価部会開催～

平成 29 年 8 月の土日を含めた 5 日間、来館者対象のアンケート調査を実施し、利用状況や各種サービスの認知度・満足度などの状況を把握した。

自由記述欄の意見は 500 件を超え、読みたい本や雑誌・AV 資料の充実や図書館の開館時間・休館日に関する意見などが寄せられた。

アンケートの調査結果や「自己点検報告書」などについて図書館協議会図書館評価部会での外部評価をおこなった。評価報告については、図書館 Web サイトなどで公開し、今後の図書館運営に活かしていく。

3. 地域・市民との協働

豊中市立図書館は、児童サービス、障害者サービス、多文化サービスなどにおいて、長年、市民と協働し事業に取り組んできた。豊中市における子ども読書活動は、「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」や「おはなしボランティアポケット」ほか市民とともに築き上げてきたものである。また、障害者サービスでは、市民グループによる点字・録音図書の作成や対面朗読などにより、障害のある人への読書環境が整備されてきた。

平成 28 年度に実施した「豊中図書館の未来を考える会」と協働での職員研修で出た提案について、平成 29 年度は各館での振り返りや成果などを洗い出すことで、これから図書館 PR について考える機会とした。

図書館は、資料・情報と人をつなぐ役割を基盤に、人と人をつなぐ出会いの「プラットフォーム」の役割を果たすことをめざしている。協働により、市民感覚が事業に反映され、地域に根ざした図書館活動につながるとしている。図書館センター制度も本格的に始動し、豊かな都市創造や市民生活に潤いをもたらす「知の拠点」として今後も市民とともに歩んでいく。

◆ しょうない R E K (R:リサイクル E:イベント K:瓦版[情報発信])

事業名：「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」

平成 16 年度、協働事業市民提案制度により、庄内図書館 3 階で、リサイクル本販売で得た収益金を活かして地域の活性化に取り組む協働事業を開始した。

平成 29 年度は常設コーナーでは 5,192 冊を販売し、「高川まつり」「庄内祭り」「とよなか国際交流フェスティバル」などにも参加して、地域とつながる機会を増やした。

平成 26 年度から開催している「外国人親子に向けた高校進学相談会」では、多言語で説明をおこなう従来の進学相談に加えて、中学校教諭と高校教諭から受験準備や実際の高校生活に関する情報提供の機会を設け、参加した親子にとってより具体的な内容となった。

また、日本センチュリー交響楽団、大阪音楽大学、市、市民との協働による「世界の庄内音楽ワークショップ」(全 6 回) は 4 年目をむかえた。発表の場として開催した音楽祭では展示ブース「しょうない REK がやってきた」なども同時開催。協働している団体が出展し、市民協働事業や市南部地域の取り組みを紹介する機会ともなり、多くの来場者で賑わった。

地域情報誌「ええやん！ しょうない瓦版 特別号」を平成 29 年度も発行し、市内の小中学校などに配布した。



世界のしょうない音楽祭（市立文化芸術センター）

◆ 千里文化センター「コラボ」

平成20年のリニューアルから10年目となり、この間、複合施設の利点を活かしながら、市民実行委員会・千里文化センター主催事業に積極的に関わってきた。

地域住民を講師とした「千里コラボ大学校」は、「千里の自然を見続けて」などのテーマで計11回の開催、延べ403人の参加者があった。図書館職員は講師や主催者との打ち合わせを重ねながら、関連資料の紹介や展示、図書館のPRをおこなった。また「多文化カフェ」では、テーマとなる国や地域の関連資料の貸出や資料紹介をおこなっている。その他にも、「知的書評合戦ビブリオバトルinコラボ」が開催され、計4回、延べ85人参加があった。図書館はPRをはじめ、紹介される本の準備や展示をおこなった。

また毎年開催している「コラボまつり」は市民実行委員や公民館グループなどとともにコラボ全体で取り組んでいる。

◆ 北摂アーカイブス ~地域情報アーカイブ化事業~

市民ボランティア「地域フォトエディター」とともに地域の記録（写真）を収集、デジタル化しキャッシュをつけてWeb上で公開している。図書館は地域情報アーカイブ化事業実行委員会事務局として、市民とともに活動している。

平成29年度は、北摂アーカイブスサイトの定期的な更新をめざし、定例会でWebページの編集と写真のデータ作成を学ぶ勉強会を実施した。公開勉強会では、まち歩きとWeb上の百科事典ウィキペディアの編集を組み合わせた参加型の行事「ウィキペディアタウン in 豊中」（とよ散歩）と、誰でも自由に利用できて編集も可能な地図を作るプロジェクト「Open Street Map」を体験するマッピングパーティーを同時開催。地域の資料や情報を見る・知るだけでなく、編集して発信することの楽しさを紹介した。



図書館資料もつかってウィキペディアの記事作成



情報収集もかねて市内をまち歩き

◆ 関係団体一覧

子どもの読書支援	障害者・高齢者読書支援
<p><子ども文庫></p> <p>(*印は豊中子ども文庫連絡会加入文庫)</p> <ul style="list-style-type: none"> *おひさま岡町文庫 *おひさま文庫 *くれよん文庫 *Kei おばさんの本の部屋 月よう文庫 *サークル文庫 *そよ風文庫 *つみ木文庫 *仲よし文庫 *にじいろ文庫 まめぶんこ 	<p>大阪声のグループ 豊中点訳会 グループ・エコー さわる絵本 かすみ草</p>
	<p>多文化読書支援</p> <p>国際交流の会とよなか (TIFA) おかまちおやこでにほんご しようないおやこでにほんご せんりおやこでにほんご せんりにほんご</p>
	<p>読書会</p> <p>つぐみ読書会 とよ読書会(豊中市立図書館利用者の会) 豊中読書会 原田読書サークル ふうせんかずら 木よう読書会</p>
<p>おはなしボランティアポケット 豊中紙芝居の会 千里ストーリーテリングの会 野畠おはなしの会 おはなしたまてばこ おはなしたんけんたい 紙芝居クラブともだちや</p>	<p>朗読グループ</p> <p>草の実会</p> <p>その他</p> <p>豊中図書館の未来を考える会 しようないREK 地域情報アーカイブ化事業実行委員会</p>

◆ 市民との取り組み事業

事 業 名	団 体 名	開催数	開催館
子ども読書活動連絡会	子ども読書活動連絡会委員	2	岡町
子どもと本をつなぐボランティア講座	おはなしボランティアポケット	6	岡町
ブックスタート事業「えほんはじめまして」 (含:スタッフミーティング)	豊中子ども文庫連絡会、おはなしボランティアポケット、ボランティアスタッフ	18 16 18	岡町 庄内 千里
子どもと本のつどい	豊中子ども文庫連絡会	1	岡町
子どもと本のまつり		1	高川
おはなし会（おはなしとことこ等）	おはなしボランティアポケット	83	岡町
おはなし会（おはなしポケット）		27	服部
おはなし会（おはなしポケット）		12	庄内町
おはなしくらぶ		19	高川
おはなしもこもこ・ぬいぐるみのおとまり会		13	螢池
おはなし会がやってきた (支援学校・発達支援センター訪問)	おはなしボランティアポケット ミックス JAM	8	岡町
ときどき！おはなし会、おはなしワールド (打合せも含む) 等	千里ストーリーテリングの会	20	千里
おはなしプレゼント等(打ち合わせも含む)	野畠おはなしの会	25	野畠
学校訪問「こんにちは図書館です」		4	野畠
おはなし大会	野畠おはなしの会・ミックス JAM	1	野畠
おはなしたんけんたい	おはなしたんけんたい	46	東豊中
冬のお楽しみ会	k e i おばさんの本の部屋	1	野畠
とよなか地域子ども教室	のばたけ絵本の会 他	2	野畠
しょうないREK 実行委員会等	千里ネイチャークラブ 他	9	高川
外国人親子に向けた高校進学相談会	しょうないREK 実行委員会	13	庄内
夏休み宿題おたすけプログラム“プリント宿題解決コーナー”等	しょうないREK	1	庄内
雑誌の付録販売 (とよなか市民環境展 キッズフェスタ)		3	庄内
古本市(高川まつり 庄内まつり とよなか国際交流フェスタ 庄内文化センターまつり とよなか市民環境展 リユースバザー)		2	庄内
リサイクル本コーナー		6	庄内
皇茶のご案内		40	庄内
庄内まつり(おはなし会 おばけやしき)		1	庄内
しょうない音楽祭 (世界のしょうない音楽祭・ワークショップ)	しょうないREK 他	2	庄内
陶器とりかえ隊	しょうないREK、赤ちゃんからのESD	7	庄内

事業名	団体名	開催数	開催館
地域情報アーカイブ化事業（北摂アーカイブス講演会・写真展・編集会議等）	地域情報アーカイブ化事業実行委員会、地域フォトエディター	53	岡町
北摂アーカイブス写真展	地域情報アーカイブ化事業実行委員会	29	千里
		17	螢池
ウィキペディアタウン in 豊中（とよ散歩）	オープンデータ京都実践会、NPO法人とよなか・歴史と文化の会他	1	岡町
音訳ボランティアフォローアップ講座 (選定会議含む)	グループエコー、大阪声のグループ 他	3	岡町
おかまちおやこでにほんご	おやこでにほんご	37	岡町
しょうないおやこでにほんご		30	庄内
せんりおやこでにほんご		33	千里
せんりにほんご	せんりにほんご	21	千里
コラボ大学校	千里文化センター市民実行委員会	11	千里
多文化カフェ		6	千里
知的評論合戦ビブリオバトル in コラボ		4	千里
コラボまつり紙芝居・P O P 展示等	フェスティバル実行委員会、豊中紙芝居の会、千里青雲高等学校	1	千里
千里親子ふれあい広場	赤ちゃんからのE S Dとよなか	8	千里
とよなか市民環境展 2017	とよなか市民環境会議アジェンダ21	1	千里
Y Aボランティア活動 (ふゆのおたのしみ会等)	Y Aらぼ	19	千里
触って楽しむ点字の不思議	千里公民館グループ、点字サークルつくしんぼ、大阪大学フロンティア	1	千里
朗読サロン	朗読グループ「草の実会」	2	東豊中
はっぴいかーにばる ピヨの人形劇	千里人形劇グループ・ピヨ	1	東豊中
おもちゃきょうしつ つくってあそぼう	おもちゃづくりどんぐり	1	東豊中
野畠地区人権講演会「被差別文化ゆかりの地」	野畠小、野畠小P T A、野畠地区人権教育推進協議会	1	野畠
親子で学ぶ豊中空襲 ～72年前豊中は戦場だった～	第十二中校区健全育成会、地域教育協議会	1	高川
おりがみ教室	市民	11	螢池
みんなで楽しむ源氏物語 part3	市民	1	螢池

4. 子ども読書活動推進計画

「豊中市子育ち子育て支援行動計画 こどもすこやか育みプラン・とよなか」に継承した「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念にもとづき、子どもの読書環境整備に取り組んでいる。

平成29年度は、家庭保育所・認可外保育所にむけて絵本の読み聞かせなどについて聞き取りをおこない長期貸出サービスを継続した。また「子ども読書活動連絡会」の第1回会議では、1歳6ヶ月児健康診査で配布している「とよなかこども読書マップ」の更新作業を通じて、情報共有をはかった。第2回会議では、委員からの研修報告をもとにワークショップをおこない、活発な情報交換を通じて子どもの居場所や今後の子ども読書環境について考える機会とした。

今後も引き続き、関係部局・施設・団体・市民と連携しながら、「子ども読書活動連絡会」の協力体制のもと、子どもたちの読書環境整備をすすめていく。

5. 事業報告

◆ 暮らしの課題解決

図書館では市民生活において特に関心の高い課題として「医療・健康情報」「ビジネス・就労」「多文化共生」「子育て・DV（ドメスティック・バイオレンス）」の4つのテーマを設定している。岡町、千里、庄内、野畠の各図書館でそれぞれのテーマにそった資料・情報を収集するとともに、関係部局・機関と連携した取り組みをすすめている。

テーマごとの取り組みについては下表にまとめた。

各テーマごとの取り組み（市民協働事業については別途掲載 p9）	
	<p>医療・健康情報</p> <p>○医療健康情報レクチャー（「高齢者の嚥下障害～食べ方を工夫して元気に暮らす～」他 3回 会場：岡町・高川・野畠図書館 共催：市立豊中病院）</p> <p>○認知症サポーター養成講座（5回 会場：岡町・庄内・高川・千里・野畠図書館 共催：高齢者支援課・豊中市キャラバンメイト連絡会）</p> <p>○豊中市保健所主催の講座（3回 会場：豊中市保健所・すてっぷホール）</p> <p>○豊中市保健所の啓発パネル展（3回 会場：岡町図書館）</p> <p>○とよなか市民健康展（会場：豊中市立文化芸術センター 主催：市医師会・歯科医師会・薬剤師会）</p>

ビジネス・就労	<p><講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスゼミナール（Bゼミ）（「プチ起業家のための情報発信のコツとツボ」他 4 回 会場：岡町・庄内・千里図書館 共催：産業振興課） <p><関連資料の出張展示・貸出></p> <ul style="list-style-type: none"> ○起業セミナー・遊びのマーケティング（7回 会場・主催：とよなか起業・チャレンジセンター） ○経営セミナー（2回 会場：とよなか起業・チャレンジセンター 主催：産業振興課） ○とよなかおしごと部（8回 主催：産業振興課） ○ハローワークセミナー（4回 会場：千里公民館 主催：ハローワークプラザ千里） <p><ビジネス・就労支援サービスのPR></p> <ul style="list-style-type: none"> ○とよなか産業フェア（会場：文化芸術センター 主催：産業振興課）
多文化共生	<p><配本・貸出></p> <ul style="list-style-type: none"> ○とよなか国際交流協会への外国語資料の配本・貸出 <p><図書館 Web サイトでの検索方法の案内></p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人向けに図書館所蔵の母語の資料の検索手順をやさしい日本語で作成し、とよなか国際交流センターに提供 <p><多言語版利用案内></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ネパール語を追加
子育て・DV	<p><子育て></p> <ul style="list-style-type: none"> ○里親制度について（共催：大阪府池田子ども家庭センター・大阪西本願寺常照園） <ul style="list-style-type: none"> ・パネル・関連資料の展示と制度説明会と個別相談会（2回 会場：野畠図書館） ・パネル展示（1回 会場：千里図書館） <p><DV></p> <ul style="list-style-type: none"> ○パネル展「抑圧をはねかえす 5つのテクニック」とよなか男女共同参画推進センターすべてっぷから借用した「ノルウェー男女平等パネル」を展示（1回 会場：野畠図書館）



医療健康情報レクチャー
「家族が認知症になったら」（高川図書館）



とよなか国際交流協会の書棚
定期的に図書館が本の入れ替えをおこなっている

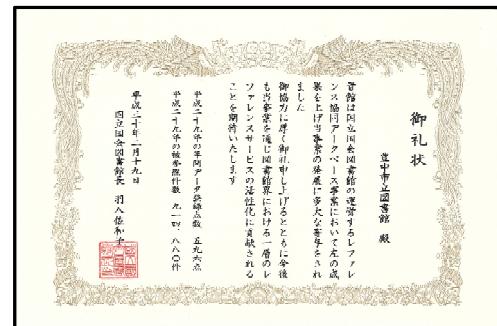
◆ レファレンスサービス

資料をつかって日常の疑問や、仕事で必要な情報など、市民のさまざまな調べもののサポートをしている。関連機関や相談窓口、専門家の紹介もおこなう。昭和 44 年から専任職員を配置して得た事例の蓄積と、「暮らしの課題解決」支援サービスなどで得た連携先とのつながりを活かし、個々の事情に合わせたサービスを心がけている。

岡町、野畠、千里図書館には独立した参考室（千里は参考図書コーナー）があり、専任の職員を配置している。レファレンスは来館のほか Web サイトや電話、FAX でも受け付けし、記録は全館で共有している。記録の一部は「調査事例紹介ポスター・チラシ」として館内掲示し、調査で得たノウハウは調べ方ガイド「検索なび」に反映させ、市民に還元している。ほかにも地域情報発信の一環として豊中市に関する新聞記事の見出しを Web サイトで検索できるようにしている。

平成 29 年のレファレンス協同データベースへの貢献度は、被アクセス件数が市町村立図書館の中で第 1 位、全参加 765 館中でも第 6 位と、非常に高い結果となった（平成 29 年 12 月 31 日現在）。事例を公開することにより他の参加館から情報提供を受け、未解決の調査が解決することもある。また岡町図書館参考室で法令・判例データベース「Westlaw Japan」を導入し、来館者への提供を開始した。

今後も職員間・全国の図書館間との情報共有をすすめ、サービスの向上につとめていきたい。



国立国会図書館からの御礼状

◆ 個人貸出サービス

<貸出室・一般図書コーナー>

平成 29 年度の個人有効登録者数は 1.1% 減少したが、継続貸出を除いた成人書の個人貸出冊数は横ばい、個人貸出人数（15 才以上）は 1.3% 増で増加の傾向にある。40 才以上の個人貸出人数は引き続き増加しているが、20~30 代の利用は減少しており、ライフスタイルの変化などへの対応に加え、青年層にむけて来館をうながす働きかけも必要である。個人予約点数は 3.5% 増、平成 26 年度と比較して 13% 以上の伸び率を示している。また個人の読書記録などに便利な、借出・予約の資料一覧を履歴として保存できる仕組みを整えた。

■登録率 37.5% ■個人有効登録者数 149,260 人 ■年齢別貸出人数（15 才以上） 889,624 人

■継続貸出を除く個人貸出冊数（成人書のみ） 1,917,893 冊 ■個人予約点数 776,992 件



<こども室・児童書コーナー>

平成 29 年度の 14 才以下の個人有効登録者数は 0.9% 減少したが、児童書の貸出冊数は約 2.5% の増加、個人貸出人数は横ばいとなっている。

平成 29 年度は新たな試みとして岡町図書館のこども室で夜間開室をおこなった。7~9 月の期間 19 時まで開室した。

また各館で近隣の小中学校や複合施設内と連携しての展示や行事も積極的に実施した。図書館見学は合計 45 施設、120 クラス以上を受け入れた。さらに蛍池図書館では地域の学校司書と連携して児童の学習をサポートする「夏休みしゅくだいおたすけ DAY」を 3 日間おこない、延べ 42 人の小中学生の参加があった。

■個人有効登録者数（14 才以下）25,492 人

■年齢別貸出人数（14 才以下）170,058 人

■貸出冊数（児童書のみ、団体を含む）1,109,431 冊

■継続貸出を除く個人貸出冊数（児童書のみ）1,010,816 冊

■図書館見学受入施設 豊中市立各小学校・しいの実学園・あゆみ学園・しんでんこども園

箕面自由学園小学校・大阪音楽大学付属音楽幼稚園

◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」



健診会場でのひとこま

絵本を通して赤ちゃんと保護者が楽しいひとときを過ごし、心ふれあう時間を持つきっかけとなることを目的とし、子育ち・子育て応援事業の一環として 4 か月児健康診査において実施している。図書館と健康増進課、「豊中子ども文庫連絡会」、「おはなしボランティアポケット」をはじめとする市民ボランティアと連携・協働し、健診を受ける一組一組に言葉をかけ、絵本を手渡す。経験豊かなボランティアスタッフから読み聞かせや絵本の楽しみ方などのアドバイスを受け、実際に絵本を持ち帰ることで、家庭ですぐ絵本に親しむことができるため、好評を得ている。この事業は、市内のすべての赤ちゃんと保護者と関わりを持つ貴重な機会であり、

新たな図書館利用の促進とともに、関係部局やボランティアスタッフとの協働によりさまざまな情報提供をおこなうことで、地域の子育て支援サービスと市民をつなぐ役割を果たしている。

平成 29 年度も市内 3 か所の 4 か月児健診会場で、延べ 48 回実施し、3,475 組にブックスタートパックを手渡した。受診されなかった人には後日保健師による家庭訪問などの機会を通して絵本を手渡している。（保健師による配布数：平成 29 年度 53 件）

事業に携わるスタッフの理解を深め、連携をより円滑にするため、研修を兼ねたスタッフミーティングと懇談会を各 1 回実施した。障害のある子どもや外国にルーツを持つ家庭の現状と課題について、市民ボランティア、図書館および健康増進課の職員とともに学ぶ機会とした。

◆ ヤングアダルト（YA）サービス

YA世代（おおむね12～18才）の年齢別個人有効登録者数は、12才～17才2.4%減、18才～21才4%減、年齢別貸出人數は横ばいであった。

平成29年度は、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷと連携し「男女共同参画週間 連携展示2017」に参加した。千里図書館で活動する「YAらぼ」（YA世代のボランティア）は、現在中学生から大学生まで7名が登録している。市内の学校や近隣商店に配布するYA!BOOKS通信16号では、メンバー自身による記事で「YAらぼ」の活動をPRした。また「まちライブラリーブックフェスタ2017 in 関西」でYA!BOOKS通信のバックナンバーを展示した。

平成20年の千里図書館リニューアルを機にYAサービスを本格的に取り組みはじめて10年になり、高校生のボランティア受け入れも増え、YAコーナーも定着してきた。今後はさらにYA世代にとって魅力ある場、情報発信と社会参加の機会提供に取り組む。

■年齢別個人有効登録者数 12才～17才 18,293人 18才～21才 6,441人

■年齢別貸出人數 12才～21才 60,837人

おもな取り組み	実施館
中学生職場体験学習おすすめ本POP展示	岡町・庄内・千里・野畠・東豊中・服部・高川・螢池図書館
豊中高等学校ボランティア「志学」の受け入れ	岡町・庄内・千里・野畠・高川・螢池図書館
男女共同参画週間すてっぷ連携展示2017	庄内・千里・東豊中図書館
エリア内の小中学校と連携し夏休み中にスタンプラリーを実施	東豊中・高川図書館
各館の取り組み	
豊中高等学校課題研究授業資料の提供、第三中学校読書郵便・職場体験新聞展示、第一中学校調べ学習・おすすめ本POP展示、豊中市中学校司書グループ発行「よめーる」掲載本展示	岡町図書館
市内高等学校への学校訪問、YA!BOOKS通信16号発行（点字体験特集）、「まちライブラリーブックフェスタ2017 in 関西」に参加、千里青雲高等学校文化祭において図書館紹介のブース設置、千里青雲高等学校図書委員によるおすすめ本POP（コラボまつり期間）、ふゆのおたのしみ会（YAらぼ企画・実施）、関西学院大阪インターナショナルスクールボランティアの受け入れ	千里図書館
特別支援学校中学部の職場体験実習、箕面自由学園中等部のインタビュー対応、高校情報パンフレット展示コーナー設置	野畠図書館
冬休みに小中学校連携巡回POP展示	東豊中図書館
第十二中学校司書との連携による生徒への自習室PR、第十二中学校生徒によるエリア内小学校での紙芝居会	高川図書館
「Shaberi 場（しゃべりば）」（中高生はじめ市民の居場所）開設、学校図書館の活動紹介と作品展示、「夏休みしゅくだいおたすけDAY」	螢池図書館

◆ 高齢者サービス

高齢者施設に団体貸出や配本サービスをおこなっている。一方で資料の管理が施設の負担となる場合もあることから、団体リサイクルの対象を広げ、平成26年度から庄内図書館で豊中市全域の高齢者施設に資料を譲渡している。あわせてアンケートも実施し、施設からの要望を図書館サービスに反映させる機会としている。平成29年度は15施設に、650冊を譲渡した。

高齢者向け出前おはなし会を自治会からの依頼でおこない、昔話の絵本や紙芝居、地域の昔の写真の紹介などのプログラムが喜ばれた。「認知症サポーター養成講座」を高齢者支援課と「豊中市キャラバン・メイト連絡会」と共催し、103人（5館合計）の参加があった。定期的に開催している医療健康情報レクチャーでも認知症をテーマに講座を実施した。

今後も高齢社会に対応し、状況に応じたきめ細やかなサービスをおこなっていく。



団体リサイクルのようす

◆ 障害者サービス

身体上の都合で来館できない市民に宅配・郵送により資料を貸し出している。

視覚に障害のある人には、録音図書（音訳図書やデイジー図書^①）・点訳図書の貸出、対面朗読を実施。岡町、庄内、千里、野畑、蛍池図書館には、拡大読書器を設置するとともに大活字本を全館で提供している。耳の不自由な方には筆談ボードなどによる対応や緊急用ピクトグラム^②の表示板などのほか、補聴器用の磁気ループ^③を千里、蛍池図書館に設置している。

録音図書・点訳図書の作成や対面朗読サービスの提供は、ボランティアグループの協力によりおこなっており、「音訳ボランティアフォローアップ研修講座」を年2回実施している。

平成29年度のおもな取り組みは以下のとおりとなる。

- ・ 「障害者サービス担当職員向け講座」（主催：日本図書館協会、国立国会図書館関西館）の実習館として協力。実習生2名を受入
 - ・ 教員からの相談を受け、視覚に障害のある中学生の学習支援への協力
 - ・ 大阪ガスグループ“小さな灯”運動北東部支部より、プレクストークPTN3^④の寄贈
 - ・ ボランティアグループ「さわる絵本 かすみ草」（平成28年度発足）より、さわる絵本^⑤の寄贈
- メディアの進歩によりさまざまな形での資料提供が可能となり、利用者ニーズも多様化するなか、関係機関、近隣自治体、ボランティアグループなどと連携・協力し、サービス向上に取り組んでいく。

*1 デイジー図書=音声情報を圧縮して記録したCD

*2 ピクトグラム=絵文字や絵言葉

*3 磁気ループ=マイクを通した明瞭な音声を聞くためのシステム

*4 プレクストーク=デイジー図書の再生機

*5 さわる絵本=布や毛糸などを用いて絵を半立体的に貼り付け、文を点字と墨字にした絵本

◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）

庁内各部局に対する資料の貸出やレファレンスサービス、各職階の新任職員研修（課長級・課長補佐級・係長級・5年目・新規採用）での関連資料の展示・貸出と業務に役立つ情報の提供を平成22年度からおこなっている。平成29年度より庁内仕事応援サイトを図書館Webサイトに移転し、引き続き情報発信に取り組んでいる。

また、法律や文書管理などの職員向け実務研修や第4次総合計画策定に係る職員ワークショップでの関連資料の展示と貸出、平成30年度新規採用予定職員への事前オリエンテーションで人事課が配布した参考図書リストの作成への協力など、政策決定や人材育成に資する情報提供をおこなった。

◆ 団体へのサービス

学校、放課後こどもクラブ、こども園、幼稚園、保育所（園）、高齢者施設、障害者施設、子ども文庫・おはなしボランティアグループ・読書会などの市内の活動グループに資料貸出などの支援をおこなっている。

＜学校図書館＞

平成29年度の小中学校図書館への貸出冊数は前年比約6.4%減少したが、学校図書館の蔵書の充実や学校間の相互貸出により、学校内での児童・生徒の貸出利用は伸びている。

毎年2回、学校司書と公共図書館司書との地域館交流会を実施している。各地域で協力し、連携展示や夏休みスタンプラリー、教職員向けの図書館通信の発行、「おかまち司書大賞」など、地域ごとに工夫をこらし、特色ある取り組みを展開している。

■ 小中学校図書館への貸出冊数

57,038冊（継続貸出13,538冊含む）



庄内地域で作成している教職員向け図書館だより「なんぶらりあん通信」

＜学校図書館支援ライブラリー＞

学校図書館の「読書」「学習・情報」「教員支援」の3つの機能をサポートしている。

螢池図書館開架の教員支援用資料については、館内での資料展示のほか、教員志望者対象の講座「マチカネ先生塾」で紹介するなど、認知度の向上につとめた。学校図書館を窓口とした教員への貸出に加え、来館での一般利用につながった。

また、岡町図書館のパッキング資料（調べ学習サポートパック・図鑑セット・総合百科事典ポプラディア）については、調べ学習支援チームによる利用状況の分析結果を受け、新たな資料の追加など見直しをおこなった。

<幼稚園、保育所（園）、こども園、放課後こどもクラブなど>

幼稚園、保育所（園）、こども園、家庭保育所、認可外保育所からの依頼を受け、季節や行事などに関係する資料の貸出をおこなっている。平成29年度はこども事業課と共に放課後こども園・幼稚園教諭、保育士向け絵本講座を実施した。

市内の小学校の放課後こどもクラブに、職員が選定した定評のある本・紙芝居などを貸し出している。平成29年度はニーズにあわせて貸出セットの内容を更新した。また、螢池人権まちづくりセンターでは乳幼児向けおはなし会の実演をおこなうことでセンター職員へのレクチャーにつなげた。

<子ども文庫>

平成29年4月現在、11の子ども文庫があり、「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」加入は9文庫。それぞれの地域で子どもに本を手渡し、子どもの育ちを見守る活動が続けられている。子どもの身近な居場所として、また、子どもをとりまく大人の交流の場として地域に根づいている。



「杉山亮のものがたりライブ～何ができるかは ひ・み・つ」

図書館からは文庫活動を支援するために、長期の団体貸出や必要なテーマの資料を提供しているほか、平成29年度も文庫を訪問し、現状や課題の聞き取りをおこなった。

毎年、豊子連と共に実施している「子どもと本のまつり」では高川図書館でおはなしや手づくりあそびを楽しみ、「子どもと本のつどい」では岡町図書館で児童書作家の杉山亮さんを迎える、「杉山亮のものがたりライブ」をおこなった。

<おはなしボランティア>

多くのボランティアグループが、市内のさまざまな場所で活動している。子どもに対する読み聞かせのほか、自主的にボランティアの輪を広げる講座なども開催している。図書館に関連する各グループの活動内容については「市民との取り組み事業」(p9) を参照。

岡町図書館館外サービス室では打ち合わせの席を増やし、子どもと本をつなぐ情報共有掲示板を設けるなど、ボランティアが利用しやすい部屋づくりにつとめた。今後も「子どもと本をつなぐボランティア講座」「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」、地域の読み聞かせボランティア対象の講座を通じて、これから活動を始める人や活動中の人の支援を継続していく。

◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス

図書館から離れた地域や来館が困難な子どもたちの通う施設へ動く図書館車に約3,200点の資料を載せ、18ステーションおよび10施設を約4週間に1回の頻度で巡回した。8月以降は利倉西センター図書室開室にともない、16ステーションとなっている。このため平成29年度は個人貸出人数、貸出冊数ともに合計数は減少したが、各ステーションの利用は増加している。

「おはなし会がやってきた！」ではボランティアグループが支援学校、児童発達支援センターなど3施設で、図書館職員がこども園、保育所の卒園児を対象として5施設で実施した。このほか堀田公園でのボランティアグループによる「あおぞらおはなし会」や服部緑地都市緑化植物園での「動く図書館@植物園～みどりのライブラリー」開催など利用の拡大につとめた。

■個人貸出人数 7,401人（前年比約11%減） ■個人貸出冊数 40,846冊（前年比約8%減）

◆ 図書室

いぶき図書室には約7,400冊の資料があり、週2回午後1時から午後5時まで開室している。また、月2回図書室職員とボランティアの協力によりおはなし会をおこなっている。

利倉西センター図書室には約3,200冊の資料があり、週2回午後2時から午後5時まで開室している。バス図書室からの移転にともない、蔵書数は2倍になり利用も好調である。

今後も定期的に資料を入れ替えることで書架を新鮮に保ち、利用の促進につなげる。

〈いぶき図書室〉 ■個人貸出人数 6,349人 ■個人貸出冊数 20,038冊

〈利倉西センター図書室〉 ■個人貸出人数 1,882人 ■個人貸出冊数 7,227冊（7月から）

〈バス図書室〉 ■個人貸出人数 81人 ■個人貸出冊数 159冊（6月まで）

◆ 資料の収集と保存

収集に関しては毎週1回、職員で構成する選書委員会で、市内全図書館の資料の選書をおこなっている。「豊中市立図書館資料収集方針」（Webサイトで公開）にもとづき、主体的な生涯学習活動を支援していくために市民の要望および社会の動向も反映させながら、教養・調査研究・レクリエーション・ビジネス・日常の生活に役立つ資料を収集している。

平成29年度も引き続き「暮らしの課題解決」に関わる資料の整備に取り組んだ。市内9図書館をひとつの図書館と考え、限られた資料を効果的に運用するように心がけている。市内の共同書庫である野畠図書館書庫がすでに飽和状態に達しているなか、府立図書館や他市の図書館との相互貸借制度・広域利用も活用し、豊中市立図書館としての蔵書の構築につとめていく。

◆ 人権・平和に関する取り組み

市民向けの取り組みとして、各種資料展示や講演会、パネル展を実施し、職員と市民がともに人権・平和について考える機会としている。

また、職員が人権について理解を深め、市民への啓発につなげるため、年3回の研修をおこなっている。

事業名	講師
市民向け人権講演会・資料展示・パネル展	
講演会「被差別文化ゆかりの地」	人権推進委員協議会事務局長 西田 益久さん
講演会「地域で子育ちを考える学習会～子どもを見る「め」とは～」	大阪教育大学非常勤講師 土田 光子さん
人権講座「詩人 峰三吉」～反戦平和の詩人はいかに生まれたか～	大阪大学大学院文化研究科教授 宇野田 尚哉さん
資料展示 「戦争と平和」 (平和月間) 「人権関連」 (人権月間) (活字を読むことが困難な子どもたちの読書について理解するための資料展示) 「男女共同参画週間連携展示2017」 (男女共同参画週間) すべてふと共催 「りんごの棚」	
パネル・資料展示「里親制度タペストリー展」 (岡町図書館、千里図書館、野畠図書館) パネル・資料展示「世界エイズデー展」 (岡町図書館) パネル・資料展示「働く人の権利って？」 (野畠図書館) パネル展示「ユニセフ写真展 すべての子どもたちに教育の機会を」 (千里図書館) 作品・資料展示「豊中第四中学校夜間学級作品展」 (庄内図書館、服部図書館、高川図書館)	
職員研修	
新児童養護施設・乳児院の開設について	大阪水上隣保館 豊中市新施設準備室(児童養護施設 遥学園) 渡邊 治子さん・土井 聰子さん
豊中地区フィールドワーク	豊中人権まちづくり協会 酒井 留美さん・重本 洋輔さん
豊中市の高齢福祉の施策や制度について	野畠図書館職員
高川地域福祉活動支援センターの事業及び豊中南部地域での事業について	豊中市社会福祉協議会 佐藤 千佳さん
人権啓発DVD「あなたに伝えたいこと」の視聴とグループ討議	
図書館における人権問題資料について	岡町図書館職員・野畠図書館職員

◆ 研修

職員が受講したおもな研修（職場研修、個人研修含む）

専門研修	一般研修
公立図書館と学校図書館との合同研修	情報セキュリティ研修
日本図書館協会 児童図書館員養成専門講座	職場接遇力スキルアップ研修
大阪府図書館司書セミナー 「人は図書館をどのように思っているか」等	プレゼンテーション研修
大阪公共図書館協会 障害者サービス基本研修	認知症サポーター養成講座
大阪公共図書館協会 児童サービス中堅職員研修	広報力向上研修
大子連児童文化講座 「ビジュアル科学の読み聞かせ本」等	公共施設公民連携セミナー「公共施設を取り巻く環境と生きる手段としてのPPP/PFI」
読書バリアフリー研究会 「みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう」	人権研修主任推進員・推進員等合同研修
「ビブリオバトル」研修	子ども食堂（居場所）フォーラム
子どもと本をつなぐボランティア講座 「絵本の選び方・読み方」等	事務の基本研修「5Sからはじめよう！」
読書支援サポート講座 「図書館の障がい者サービスと知的障がい者」等	文書館歴史講座
大阪公共図書館大会 「蔵書構成について考える」	就学前教育・保育研修
国立国会図書館 資料保存研修	地域子育ち・子育て支援ネットワーク子ども部会研修
セミナー「認知症にやさしい図書館とは? in 阪大」	コミュニティ政策学会豊中大会 「コミュニティと都市の再生」
JPIC 読みきかせサポーター実践講座	とよなか都市創造研究所 調査研究報告会
図書館ブックフェア 2017 セミナー 「ひと味違う読み聞かせ」	男女共同参画推進連絡会議研修会
国立国会図書館 資料デジタル化研修	EG おおさか・地域経済コンシェルジュ養成講座
大阪公共図書館協会 参考業務実務研修	政策評価シミュレーション研修
図書館等職員著作権実務講習会	管理監督職員研修「メンタルヘルス研修」
日本図書館協会 中堅職員ステップアップ研修	人権研修「豊中地区フィールドワーク」等
計： 63 講座 93 人参加	計： 35 講座 317 人参加

図書館専門研修として学校図書館との連携を意識した研修のほか、全国の先進事例および業務に關係の深い社会動向を学ぶことにつとめ、図書館職員として必要な専門性や技能の向上に取り組んだ。

図書館運営の中核を担う人材育成の観点からも、長期研修「児童図書館員養成専門講座」および「中堅職員ステップアップ研修」などに参加し、その後、全職員への報告など共有の機会を設けている。「レファレンスサービス」「障害者サービス」「子ども読書活動」「ヤングアダルトサービス」などのテーマについては、継続的に研修に取り組むとともに、講師としての職員派遣や、実習館として研修実施への協力もおこなった。また、図書館5館での市民向け「認知症サポーター養成講座」の開催は職員自身も認知症についてあらためて学ぶ機会となった。

今後も、職員の多様な雇用形態を踏まえて、職員一人ひとりのキャリア形成の視点を大事にした研修を企画するとともに、さまざまな研修への参加を通して、市民サービスの向上につなげていく。

6. 情報発信（広報・広告など）

図書館は地域の情報センターとしての役割を担い、市民サービスの向上および地域の活性化をはかるため、各種媒体を活用した情報配信、広報・広告事業をすすめている。

平成29年度は北摂地区7市3町で広域利用をスタートさせ、広報誌やチラシなどで広くPRをおこなった。図書館メールマガジンの登録件数は2,004件と増加し、60回配信した。Webサイトでのバナー広告は4件、利用者用蔵書検索端末などで使用するレシートへの広告依頼は9件と増加した。

「広報とよなか」11月号で図書館の特集記事が6ページにわたり掲載され、身近な図書館サービスとして市民に広くアピールする機会となった。

The image shows a double-page spread from the November issue of the 'Yonanaka' magazine. The left page (page 3) features a large yellow vertical banner with the text '暮らしを豊かに' (Making life rich) and '身近な図書館' (Local library). Below the banner are four small photos showing people using library services: a woman at a computer, a man at a counter, a person browsing books, and a person reading a book. A portrait of a man is also shown. The right page (page 4) continues the theme with a large yellow banner '暮らしから離れた地域の人には' (For people living in distant areas) and '乗せて出発! 動く図書館' (Departing by bus! Mobile library). It includes a photo of a bus and text about the mobile service. The bottom half of the right page contains several columns of text and small photos related to library services for various groups: 'もっと多くの本に出会いたい人には' (For people who want to meet more books), '図書館が利用可能に' (Library available for use), and 'おうちで休憩を作りたい人には' (For people who want to create a break at home). The bottom of the right page has a photo of a woman holding a baby.

「広報とよなか」11月号

メディア掲載一覧

タイトル・内容等	メディア	時期	種類	
質問 ウィキペディアタウンって何だろう？「我が街」魅力世界に発信	産経新聞	2017.8.8	新聞	
みんなで楽しむ源氏物語「源氏物語の名文を読む」	毎日新聞	2017.11.15		
移動図書館 豊富な大阪「身近に本を」70年続く思い 移動図書館「動く図書館」についても紹介	日本経済新聞	2017.12.14		
阪南市リサイクル本販売紹介記事の中でしょうないREKIについても紹介	読売新聞	2017.12.13		
北摂7市3町で7月から図書館の広域利用がスタート	毎日新聞	2017.5.15		
	朝日新聞	2017.5.16		
	読売新聞			
ニュースに関する事象を郷土資料（岡町参考室蔵）を用いて取材	豊中市Webサイト	2017.5	Web (豊中市)	
	報道ステーション (テレビ朝日)	2018.3.26	テレビ	
「庄内バル」に出展した「庄内将棋倶楽部@庄内バル」の紹介	まいぷれ豊中	2017.10	Web	
きょうは 何の日？	豊南町東に高川図書館がオープンした日	2017.6.10		
	市立豊中病院が開院した日で千里図書館展示「北摂アーカイブス写真展」のパネル写真	2017.7.19		
	岡町北にできた豊中市立図書館が開館した日／今年もレコード展やるみたい	2017.11.8		
	庄内幸町図書館が開館した日／東豊中町にある「東豊中図書館」と同時開館だった	2017.11.8		
豊中の謎を追え！で千里図書館のレファレンスコーナー取材	豊中報道。2	2017.6.12		
Bゼミ #9 ビジネスゼミナール@千里図書館 「プチ企業家のための情報発信のコツとツボ」の開催を紹介		2017.6.21		
「まっふる豊中さんぽ地図」の配布場所のひとつとして千里図書館を紹介		2017.12.11		
魅力創造課主催「SHONAI LOOP」の庄内公民館での展示（イベントの一環として制作された本の紹介）		2018.1.20		
新築マンションの周辺公共施設に庄内図書館（庄内文化センター）が紹介	不動産 Webサイト SUMO	2017		
動く図書館@植物園～みどりのライブラリー～	服部緑地都市緑化植物園 Webサイト	2018.3.9		
図書館がオススメする「貧困」「ホームレス問題」関連書籍	ビッグイシュー・オンライン	2018.3.10		

タイトル・内容等	メディア	時期	種類
カレントアウェアネス E1999 - 第14回レファレンス協同データベース事業フォーラム<報告>カレントアウェアネス-E No. 342 2018. 02. 22	国立国会図書館 Web サイト	2018. 2. 22	Web・メール
全国の図書館ネットワークが連携 調べ物データベースで学びを支える	教育家庭新聞	2018. 2. 5	Web・新聞
北摂アーカイブスの取り組み：地域住民とともに地域の記憶を記録・活用（特集 図書館のデジタルアーカイブ活用促進）	「図書館雑誌」6月号	2017. 6	雑誌
Bゼミ #9 ビジネスゼミナール@千里図書館 「「プチ企業家のための情報発信のコツとツボ」の開催を紹介	「Link」 (リアル生 活応援マガ ジン)	6月号	2017. 5
第36回「子どもと本のまつり」の開催を紹介		8月号	2017. 7
「与謝野晶子の人生と文学」(庄内公民館と共に開催)の開催を紹介		10月号	2017. 9
「みんなで楽しむ源氏物語」(蛍池公民館と共に開催)の開催を紹介		12月号	2017. 11
「大人のための図書館のお仕事体験ツアー IN 庄内」の開催を紹介		2月号	2018. 1
市内の図書館で実施しているおはなし会の案内		4月号	2018. 3
赤ちゃんと図書館へ行こう！	「まみたん北摂西版」		2017. 7
子育てのいろいろ、図書館で			2017. 10
いろんなおはなし会やってます！			2018. 1
豊中報道2連載企画「豊中珍百景」で「豊中市立図書館にある図書館らしくないステンドグラスがめっちゃキレイ」	「oh-まちかね」4月号	2017. 3	
新指定記念行事報告（平成28年5月28日）於豊中市立岡町図書館の記事内で紹介	「文化財ニュース 豊中」No.39	2018. 3	冊子
各館の行事掲載（岡町、野畠、庄内、千里、東豊中、蛍池、高川図書館）	まちライブラリー BOOKFESTA 2017 in KANSAI	2017. 4	パンフレット
名誉市民山田洋次ライブラリーを開設しています。	「とよなか山田会ニュースレター」準備号	2017. 6	フリーペーパー
「ごきげん千里837！ (やあ、みんな)」	庄内図書館の紹介	FM千里	2017. 4
	千里図書館の「りんごの棚」の展示を紹介		2017. 5
「北千里アワー」	しょうないREKの紹介	FM千里	2017. 6
	野畠図書館の紹介		2017. 7
豊中子育て応援隊：「図書館を上手に使いこなせ！めざせ！図書館の達人」の開催	豊中市公式フェイスブック	2017. 8	Web (豊中市)
		2017. 10	

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

グランドデザインで掲げた「待ちからまちへ」の理念を実現するため、各種イベントや講座会場など市内外のさまざまな市民参加の場に出向いて、関係機関と連携しながら講座や資料提供をおこなっている。テーマにそった関連資料を紹介・提供し、子どもから大人まですべての世代が読書に親しむ機会や、より広く深く情報を得られる機会となるようつとめている。

図書館関係者対象のシンポジウムや研修会での講師派遣や関係団体の視察は、「ブックプラネット」「図書館評価システム」「北摂アーカイブス」「しょうないR E K」「動く図書館」などの取り組みについて依頼が寄せられた。

出前講座

<子育て中の保護者を対象にした絵本講座>

「子育てサークル・子育てサロン・地域子育て支援センター」「出前おはなし会」「千里親子ふれあい広場」「わいわい子育てミーティング」「絵本講座・絵本大好き！」等

<おはなしボランティア等を対象にした読み聞かせ講座>

「みなさくおはなしタイム レクチャー」「まみんか レクチャー」「千成おはなしボランティア講座」「ひがしえほんの会 レクチャー」

「おはなしボランティアポケット例会で著作権についてレクチャー」

「高校生を対象にした読み聞かせ講座」等

<学びの場での子どもの読書に役立つ図書館活用講座>

「新任学校司書研修」「校内研修」「学校訪問」「授業支援」等

<一般向け図書館活用講座>

「図書館の便利な活用法」

各種講座での資料・図書館紹介

「医療健康情報レクチャー」「とよなか産業フェア」「府内仕事応援サイト（新規採用職員研修）」「認知症サポートー養成講座」「ビジネスゼミナール」「とよなかおしごと部」「経営セミナー」

「とよなか市民環境展」「豊中市保健所主催の講座」「コラボ大学校」「多文化カフェ」

「世界の庄内音楽ワークショップ」「地域で子育ちを考える学習会」等

講師派遣

- ・JLA 中堅職員ステップアップ研修Ⅰ（大阪私学会館）
- ・マチカネ先生塾（教育センター）
- ・JLA 平成 29 年度障害者サービス担当職員講座実習（しいの実学園・岡町図書館）
- ・市教研出前講座（第四中学校）
- ・第 14 回レファレンス協同データベースフォーラム（国立国会図書館国際子ども図書館）
- ・マンスリーサロン「図書館のサービスを市民活動に活かそう」（豊中市市民活動情報サロン）
- ・枚方市 司書教諭・学校司書研修『学校図書館を活用した授業～4年生「調べたことをまとめよう」～』（枚方市立教育文化センター）
- ・南河内地区図書館教育研修会（河内長野市高向小学校）
- ・学校図書館問題研究会近畿ブロック集会（岡町図書館）
- ・「北摂アーカイブス」の取り組みについて（京町家ギャラリー be 京都）
- ・北筑後地区子どもの読書研修会（久留米市田主丸そよかぜホール集会室）
- ・コミュニティ政策学会大会（千里公民館）
- ・JIAM（全国市町村国際文化研修所）研修会（とよなか国際交流センター）
- ・「読書活動の充実に向けて」（東丘小学校）
- ・加古川市立中央図書館職員研修（加古川市立中央図書館）
- ・図書館教育研修会（克明小学校）
- ・とよなか地域創生塾「豊中市の図書館の取り組みについて」（服部リノベーション物件）

視察

＜受入団体＞ () は訪問先

大和高田市議会議員（岡町）／青山学院大学（高川）／周南市（庄内）／アリゾナ大学、高槻市職員（庄内）／隱岐の島町図書館（岡町・千里）／都立中央図書館（千里）／SLiiC [学校図書館支援を目的とした任意団体]（読書振興課・螢池）／慶應義塾大学教授1名、大学院生1名による庁内仕事応援事業についての聞き取り調査（岡町）／守山市職員研修受け入れ（岡町・庄内・千里・野畠・高川・螢池）／明石市職員（岡町）

「北摂アーカイブス」「しょうないREK」「千里コラボ施設間連携・市民協働」「ビジネス支援」「図書館評価システム」「ブックプラネット」「動く図書館車」などの視察を受け入れた。

＜視察先＞

所沢市立所沢図書館／箕面市立中央図書館／吹田市立中央図書館

大阪市立中央図書館／宝塚市立中央図書館

8. 図書館協議会

平成29年度は3回（7・11・2月）開催された。

（仮称）南部コラボセンター設立以降に向けて、豊中市立図書館における中央館構想を含む施設配置のあり方について議論をおこなった。

会議録は豊中市立図書館Webサイトで公開している。

また臨時部会として、図書館協議会図書館評価部会が開催され（11・12・1・3月）、平成24年度から平成28年度の5年間の図書館活動を振り返り、外部評価を実施した。

平成29年度の委員一覧

名前	団体名・役職等
舟岡直子	小学校長会代表
大野俊介	中学校長会代表
岡田初美	こども園長会代表
天瀬恵子	豊中図書館の未来を考える会
松田美和子	豊中子ども文庫連絡会
◎岸本岳文	学識経験者
○渥美公秀	学識経験者
瀬戸口誠	学識経験者
有元恵子	市民公募

◎委員長 ○委員長職務代行

平成29年度の図書館評価部会委員一覧

名前	団体名・役職等
◎瀬戸口誠	学識経験者 (図書館協議会委員)
天瀬恵子	社会教育関係者 (図書館協議会委員)
吉田哲平	学識経験者 (商工会議所)
芳村幸司	学識経験者 (NPO法人)
村瀬直子	市民公募

◎部会長

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有をはかる仕組みとして、平成20 年度から「豊中市立図書館評価システム」を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。

平成29年度はまず「豊中市立図書館評価システム評価項目表」に取り組み、自己点検・評価として平成24年度から平成28年度の5年間の振り返りと目標値に対する総括をおこなった（豊中市立図書館評価システム自己点検報告書）。加えて「来館者アンケート」を実施、図書館協議会図書館評価部会を4回開催して、外部評価を実施した。

※詳細については

・『豊中市の図書館活動 I 報告』 「外部評価～アンケート実施と図書館評価部会開催～」

・『豊中市の図書館活動 II 統計・資料』 「7. 豊中市立図書館評価システム評価項目表」

・豊中市立図書館 Web ページ <http://www.lib.toyonaka.osaka.jp/index.html>

「豊中市立図書館評価システム」－「豊中市立図書館協議会図書館評価部会（平成 29 年）」内

「豊中市立図書館の運営状況（平成 24-28 年度）に関する外部評価について」

「平成 29 年度（2017 年度）豊中市立図書館来館者アンケート調査結果について」を参照

10. グランドデザインの進捗状況

グランドデザインの4つの目標 進行管理報告書(平成29年度)

グランドデザインの4つの目標とは「豊中市立図書館の中長期計画 豊中市立図書館グランドデザイン」(平成26年3月策定、以後グランドデザイン)において、平成35年(2023年)までに図書館のめざす姿を実現するために設定されたものです。

図書館のめざす姿を実現するため、28のプランを優先順位の高いものからすすめることになっています。この優先順位の高いプランの実施状況を確認することで、グランドデザインの進捗状況の点検をすすめていきます。進行管理については以下のとおり行います。

- ・0～4の目標のうち、複数のプランがあるものについては、図書館の使命および関連の事業計画や当該年度における図書館を取り巻く現状などに照らし合わせ、年度ごとに優先順位を決定します。決定には直接サービスに関わる分館の施設長等も関わります。
- ・28のプランを関連する4つの目標(1～4)と目標実現を支える取り組み(0)ごとに分類します。
- ・28のプランの優先順位の高い取り組みを抽出し、事業ごとの取り組みや課題、次年度に向けての予定を達成状況とともに表しています。
- ・優先順位の高い取り組みがどの程度達成できているか確認することにより、図書館のめざす姿の実現に向けての進行管理とします。

達成度 ◎：十分達成できた ○：おおむね達成できた △：一部達成 −：未達成

1. 学びによる市民と地域の自立を支えます。		該当プラン ②③・②④・②⑤・②⑥・②⑦
優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成30年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:②⑦ 図書館サポーターへの参加機会の提供】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none">・庄内図書館では平成29年3月から本の修理を中心月1回、サポーターの活動を開始し、平成30年1月からは月2回に回数を増やしました。・野畠図書館では平成29年6月から寄贈されたCDの装備を中心に月1回、サポーターの活動を行っています。	◎	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">○継続したサポーターの募集および人材確保○多くの市民に参加してもらえるよう、参加者のニーズの把握と魅力あるメニュー作り ② <p>【平成30年度に向けての取り組み】</p> <p>引き続き「図書館のお仕事体験ツアー」を開催してサポーター希望者を募集し、活動の機会を提供します。 ②</p>

2. 市民の利便性を向上させあらゆる情報を提供します。

該当プラン ⑯・⑰・⑱・⑲・⑳・㉑

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成 30 度に向けての取り組み
【優先的取組プラン:⑯開館日数の拡充】 【事例】 <ul style="list-style-type: none">・岡町図書館のこども室の開館時間の延長を平成 29 年 7 月～9 月の間、試行で実施しました。・庄内幸町図書館の開館日を平成 29 年 11 月から週 3 日を開館とし、2 階に自習・新聞閲覧スペースを設置しました。・利倉西センター図書室を平成 29 年 7 月に開室し、それにもない、バス図書室を閉室し、「利倉西センター」「グリーンサイドマンション」への動く図書館の巡回も終了しました。	◎	【課題】 <ul style="list-style-type: none">○千里図書館の開館日拡充後 1 年の効果検証。バックアップ体制の構築のための全館的な事業の見直しやさらなる効率化○シフト勤務による職員間の連絡調整。シフト勤務等で月末整理日が休日にあたる職員の全体会議や研修への参加の機会保障⑯○コンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けての図書館システム変更なども含めた環境整備⑲
【優先的取組プラン:⑰ 予約資料の受け取り場所の拡充】 【事例】 <ul style="list-style-type: none">・新たなサービスポイントの可能性としてコンビニエンスストアでの予約資料受取りについて検討チームを立ち上げました。検討に際し、職員派遣研修制度を活用し、所沢市の視察を行いました。	○	<ul style="list-style-type: none">○次期図書館システムに向けての仕様の検討○歴史的音源やデジタル化資料送信などのサービスの周知⑳○システムの共同開発研究に関わる協力自治体の検討㉑
【優先的取組プラン:⑱ICT の活用】 【事例】 <ul style="list-style-type: none">・国立国会図書館が配信する歴史的音源のサービス提供を岡町図書館および千里図書館で開始しました。・千里図書館のみで行っていた国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを岡町図書館でも開始しました。	○	【平成 30 年度に向けての取り組み】 <ul style="list-style-type: none">・岡町図書館こども室の開館時間試行延長の効果検証を行うとともに、実施に向けて検討します。・庄内幸町図書館の 3 階の開館日以外は職員を配置せず、2 階自習・新聞閲覧スペースを警備員の巡回等により開放します。⑯・予約資料を受け取るサービスポイントとして、コンビニエンスストアとの提携の実現に取り組みます。⑲・東豊中図書館、服部図書館においてセルフ予約棚の導入を行います。㉑
【優先的取組プラン:㉑】広域連携の拡大】 【事例】 <ul style="list-style-type: none">・平成 29 年 7 月から北摂地区 7 市 3 町の広域利用、及び大阪市民に向けて庄内図書館限定で広域連携を開始しました。・北摂地区内の各図書館へ働きかけ、北摂広域利用統計のフォーマットを新たに作成し、全体の集約を行いました。	◎	<ul style="list-style-type: none">・引き続き近隣の自治体とのシステムの共同開発研究の協力先を検討します。㉑

3. 地域課題に対応した図書館サービスを提供します。 該当プラン ④・⑦・⑧・⑯・⑯・㉖

優先的な取組プラン、事例	達成状況	課題、平成 30 年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:⑯調査分析】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度までに行った町丁別人口と登録率の増減調査に基づき、強化地域へのPR方法を検討し、図書館のPRポスターを掲示しました。 	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民アンケート(平成 29 年度実施)自由意見の分析と活用⑯ <p>【平成 30 年度に向けての取り組み】</p> <p>平成 29 年度に実施された市民アンケート(自由意見)の分析を行い、そこから地域課題や市民ニーズをとらえ、地域に根ざした図書館としてのあり方を探り、PRにつなげていきます。⑯</p>

4. 学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びの基礎作りを支えます。 該当プラン ⑪

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成 30 年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:⑪学校図書館を支援する人材の配置】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書館を活用した授業例とよなかスタンダード(概要版)」を小学校の全教員に配布しました。 ・学校図書館活用研修、校内研修を実施しました。 ・学校図書館を活用した授業実践の支援に小学校に出向きました。 ・知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」、子ども読書活動フォーラムを開催しました。 ・小中一貫校における学校図書館の検討を進めました(小中一貫学校図書館プロジェクトチーム会議、(仮称)北校学校図書館担当者会)。 ・「学校図書館等読書活動支援システム」のリプレイスを行い、その活用方法等の研修を実施しました。 	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育センター、学校教育課と連携した、学校図書館教育に関する研修の充実 ○とよなかスタンダードの普及、充実 ○学校図書館を活用した授業実績(単元数)」の学校へのフィードバック ○学校図書館活用データベースの活用推進 ○学校図書館の実務経験がある担当者の配置⑪ <p>【平成 30 年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育センター、学校教育課と連携し、学校図書館教育に関する研修を実施します。 ・「とよなかスタンダード」のさらなる普及、充実に努めます。 ・「学校図書館を活用した授業実績(単元数)」の集約方法を見直し、学校へのフィードバックの手法を検討します。 ・「学校図書館等読書活動支援システム」の学校司書及び教職員の活用促進を進めます。 ・ブックネット通信を発行し、情報の発信と共有に努めます。⑪

O. 1から4の目標実現を支えます。該当プラン①・②・③・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩・⑫・⑯・⑰・⑲・⑳

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成30年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:①最適な実施手法の確立】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東豊中図書館・服部図書館の多機能化、効率的な運営をめざして、セルフ予約棚の検討を行いました。 ・民間活力の導入の一つとして、コンビニエンスストアでの予約資料受取りの手法についても研究に取り組みました。 ・地域のニーズにあわせた図書館の機能変更として庄内幸町図書館において開館日を週6日から3日にするとともに、2階に自習・新聞閲覧スペースを設け、職員は常駐しない形で週6日の開放を開始しました。 	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セルフ予約棚設置およびコンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けて、図書館システム変更なども含めた環境整備 ○事務事業の見直しの状況や今後の図書館のあり方についての職員間における情報共有① ○各館の業務のなかで、評価項目表に関わる作業の一層の効率化② ○組織における職域ごとの業務の洗い出し、司書以外の職域の職員に向けての業務の切り出し等
<p>【優先的取組プラン:②評価システム】</p> <p>【事例】</p> <p>簡略化した評価作業による平成28年度分の評価項目表を「豊中市の図書館活動」に掲載しました。さらに、図書館協議会委員や市民公募委員等からなる「豊中市立図書館協議会評価部会」を設置。当部会において、図書館の運営状況に関する課題を、「自己点検報告書」、「図書館利用者アンケート調査」などから抽出しました。あわせて図書館が平成28年度までに設定した達成目標に対して、外部評価を行いました。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ○組織の合意形成や課題解決力を高める効率的・効果的な会議の持ち方 ○「豊中市人材育成基本方針」に基づく各職階の職員が果たすべき役割と必要な能力・資質についての認識⑤ ○多様な雇用形態による運営管理の継続実施、貸出等一部業務のセルフ化による効果の最大化 ○労働市場の変化に対応し、優れた人材の確保、および事業の継続性の確保⑥
<p>【優先的取組プラン:⑤職員の役割分担】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分館の機能見直しにともない、担当者連絡会や施設長・副館長会議を通じ、エリア内や地域館間の協力体制について検討しました。 ・教育委員会総務付の一般職非常勤職員が担当する業務を一覧にし、全館で共有しました。 ・引き続き会議の効率化・迅速化をはかるために、貸出室・こども室の各担当者連絡会に議論内容をつなぐ役割として、施設長・副館長のなかから1名ずつ配置しました。 	○	<p>【平成30年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東豊中図書館・服部図書館のセルフ予約棚設置およびコンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けて、取り組みをすすめます。① ・図書館協議会からの報告「(仮)豊中市立図書館の運営状況に関する評価報告書」に基づき、豊中市立図書館評価システム評価項目表、29~33年度までの達成

<p>【優先的取組プラン:⑥採用計画の作成】</p> <p>【事例】</p> <p>事務事業の見直し進捗管理(総務部行政総務課主管:(元)特定事業の見直し)において、図書館事業総コスト・「公共施設総合管理計画」における考え方などの全体像のなかで、職員に関する議論も継続して行いました。</p>	<p>△</p> <p>目標を設定し、「豊中市の図書館活動」にその報告を掲載する予定です。さらに、グランドデザインの中間年にあたることから、今回の評価の結果をグランドデザインへどう反映していくのか検討します。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務分担の再検討を行い地域館と分館の役割を明確にしていきます。 ・「豊中市人材育成基本方針」で求められる職員の姿に対して、各職階で自身の日常的な職務行動を振り返り、個々の具体的な目標達成に向けて取り組みます。⑤
<p>【優先的取組プラン:⑫ 施設配置の最適化】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会における議論をふまえ、中央図書館機能について検討しました。 ・図書館が身近にない利倉西地区においてバス図書室を廃止し、利倉西センター図書室を設置しました。 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他部局・学校図書館から配属された職員を対象とする図書館内部の業務研修を引き続き実施します。 ・セルフ機の効果性を最大化し業務の効率化・負担減少につなげます。⑥ ・「公共施設総合管理計画」に基づき、図書館協議会の議論をふまえ、中央館機能を持った図書館を核とする施設配置や機能分担の在り方について検討をすすめます。⑫

11. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

平成29年度は学校図書館における「読書活動支援システム」のリプレイスをおこなった。

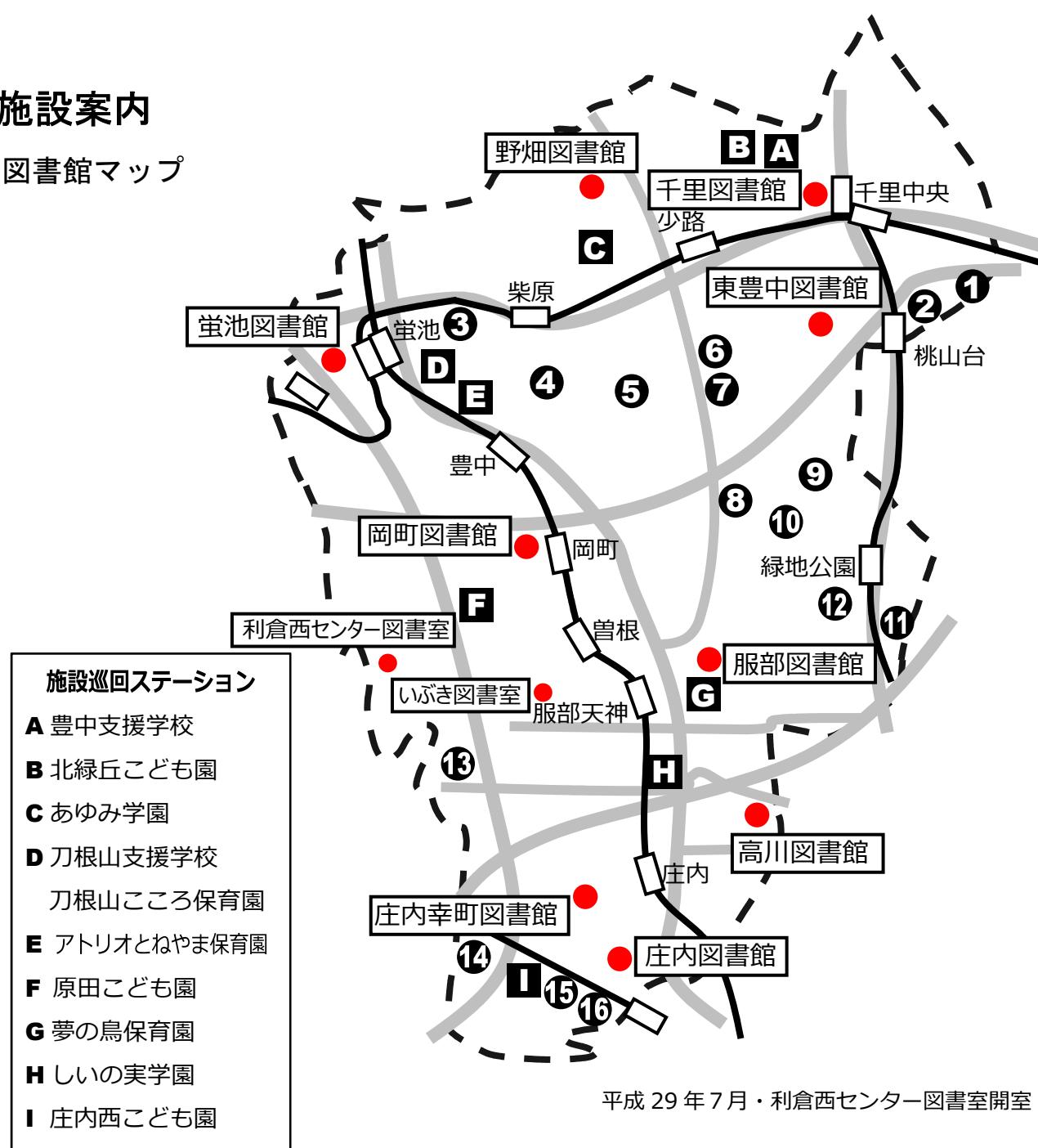
「豊中市小学校図書館を活用した授業例【とよなかスタンダード*】(概要版)」を小学校教員全員に配布するとともに、研修で活用し、普及につとめた。

また、年々参加が増えている「知的探究合戦『めざせ！図書館の達人』」において中学生大会の日を設定することや、図書委員会などで活動がひろがりつつあるビブリオバトルの大会を「子ども読書活動フォーラム」の中で試行するなど、中学生に向けた読書・学習活動の活性化にも取り組んだ。

*とよなかスタンダード=図書館教育（情報活用教育）を通して子どもたちにつけたい力を示した指導体系表と学校図書館を活用した授業例（年間計画）

施設案内

図書館マップ



動く図書館ステーション

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ①上新田4 (朝日プラザA棟前) | ⑨東泉丘4 (ジョ緑地公園3番館) |
| ②上新田4 (桃山台グリーンマンション) | ⑩西泉丘2 (グランドールマンション) |
| ③刀根山元町 (ゴツツ下) | ⑪東寺内町 (寺内南公園) |
| ④刀根山2 (天理教会) | ⑫寺内2 (日商岩井第1緑地公園マンション) |
| ⑤本町9 (住友化学社宅4号棟前) | ⑬上津島2 (上津島センター) |
| ⑥上野東2 (堀田公園) | ⑭庄本町3 (そんぽの家豊中庄本町横駐車場) |
| ⑦上野東1 (豊松園ハイツB棟前) | ⑮二葉町1 (市営二葉第二住宅) |
| ⑧アルビス旭ヶ丘 (6-4号棟北側) | ⑯大島町2 (洲到止八幡宮) |

施設概要

館名	設置年月 構造	蔵書冊数	敷地面積 専用床面積	その他施設概要
岡町図書館 岡町北 3-4-2 6843-4553	昭和 20 年(1945 年) (平成 4 年 5 月改修) 鉄筋コンクリート造 4 階建/ 地下 1 階	約 25.2 万冊	1,710.64 m ² 3,272.09 m ²	
服部図書館 服部本町 5-2-8 6862-0800	平成 11 年(1999 年)1 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 7.0 万冊	1,360.06 m ² 569.29 m ²	複合施設 服部介護予防センター
庄内図書館 三和町 3-2-1 6334-1261	昭和 50 年(1975 年)7 月 (平成 5 年 2 月末改装) 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 7.1 万冊	3,945.99 m ² 882.16 m ²	複合施設 庄内介護予防センター、 庄内公民館
高川図書館 豊南町東 1-1-2 6336-6901	平成 12 年(2000 年)6 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 9.2 万冊	3,240.34 m ² 1,257.90 m ²	複合施設 高川スポーツルーム、 高川老人憩の家、高川 介護予防センター
庄内幸町図書館 庄内幸町 4-26-14 6332-8220	平成 5 年(1993 年)11 月 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 2.2 万冊	205.49 m ² 484.59 m ²	
千里図書館 新千里東町 1-2-2 千里文化センター コラボ内 4 階 6831-0225	昭和 53 年(1978 年)4 月 (平成 20 年 2 月リニューアル) 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 14.5 万冊	3,139.59 m ² 1,731.81 m ²	複合施設 市役所新千里出張所、 千里保健センター、 千里公民館、千里介護 予防センター
東豊中図書館 東豊中町 5-2-1 6856-4660	平成 5 年(1993 年)11 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 7.4 万 冊	3,282.22 m ² 807.97 m ²	複合施設 ゆたかこども園
野畠図書館 春日町 4-11-1 6845-2400	昭和 63 年(1988 年)6 月 鉄筋コンクリート造 3 階建 /地下 1 階	約 30.3 万冊	2,000.01 m ² 3,846.46 m ²	
螢池図書館 螢池中町 3-2-1-502 ルシオーレ内 5 階 6840-8000	平成 15 年(2003 年)5 月 鉄筋コンクリート造 7 階建	約 6.6 万 冊	3,762.59 m ² 672.98 m ²	複合施設 螢池公民館、パスポーツ センター、豊中市教育 センター、螢池老人憩 の家、商業施設
動く図書館 岡町図書館より出動	昭和 25 年(1950 年)	約 3,200 冊	ステーション 18ヶ所 (平成 29 年 7 月より 16ヶ所) 施設 10ヶ所	
いぶき図書室 服部西町 4-13-1 青年の家いぶき内	昭和 61 年(1986 年)	約 7,400 冊		
利倉西センター図書室 利倉西 1-4-22	平成 29 年(2017 年)7 月	約 1,600 冊	バス図書室平成 29 年 6 月 25 日で閉室 平成 29 年 7 月 23 日より利倉西センター 図書室開室	

※動く図書館・各図書室は、岡町図書館所属

休館日・開館時間

岡町図書館	毎週月曜日（その日が休日 ^{*1} に当たるときはその翌日以降の最初の休日に当たらない日） 12月29日から翌年1月4日（1月4日が月曜日に当たるときは1月5日）まで 館内整理日（8、12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日 ^{*2} に当たるときはその前日）、特別整理期間
千里図書館	12月29日から翌年1月4日まで 館内整理日（12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
東豊中図書館 服部図書館	毎週月曜日（その日が国民の祝日に当たるときはその翌日以降の最初の国民の祝日に当たらない日）、12月29日から翌年1月4日（1月4日が月曜日に当たるときは1月5日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
高川図書館 螢池図書館	毎週金曜日（その日が国民の祝日に当たるときは、その前日以前の最初の国民の祝日に当たらない日）、12月29日から翌年1月4日（1月4日が金曜日に当たるときは1月5日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12月を除く毎月最終木曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
庄内幸町図書館 ^{*3}	毎週月曜日、火曜日、木曜日及び金曜日、国民の祝日、12月29日から翌年1月4日まで 特別整理期間

*1 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。以下同じ。

*2 同法第2条に規定する国民の祝日をいう。以下同じ。

*3 平成29年11月1日より開館日を水・土・日曜日の週3日に変更。自習・新聞閲覧スペースを設置（週6日）

		成人室	こども室	参考室	
岡町図書館	火～金	10時～19時	10時～17時		
庄内図書館	火～金	10時～19時	10時～17時		
千里図書館	月	10時～17時			
	火～金	10時～20時			
野畠図書館	火～金	10時～19時	10時～17時		
高川・螢池図書館	月・水	10時～19時			
	火・木	10時～17時			
東豊中・服部図書館	火～日	10時～17時			
庄内幸町図書館	水・土・日	10時～17時			
いぶき図書室	水・土	13時～17時	（青年の家いぶき内）		
利倉西センター図書室	水・日	14時～17時	（平成29年7月開室）		

※土・日は、（図書室を除く）全館10時～17時

※祝日・休日開館の場合は10時～17時（岡町・庄内・千里・野畠・服部・東豊中）



発行日 平成 30 年（2018 年）9 月発行

編集・発行 豊中市立岡町図書館

<http://www.lib.toyonaka.osaka.jp>